

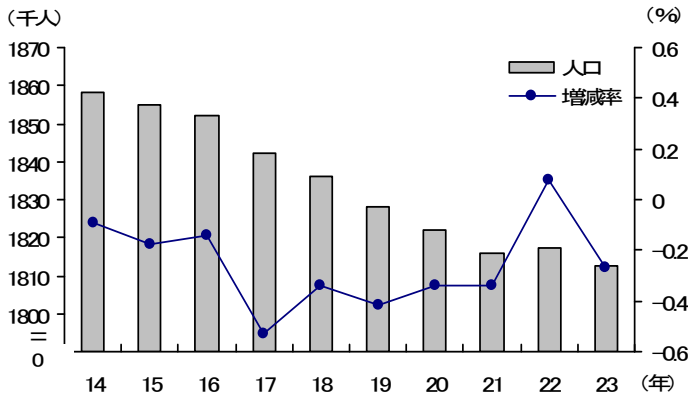
平成23年熊本県推計人口調査結果の要約

総人口	1,812,502 人	前年比	4,924 人 減少
男	851,490 人	前年比	2,024 人 減少
女	961,012 人	前年比	2,900 人 減少
世帯数	694,374 世帯	前年比	6,140 世帯 増加

1 熊本県の人口 - 4,924 人の減少

平成23年10月1日現在の人口は、1,812,502人で、死亡者が出生者を上回る自然減及び県外への転出者が転入者を上回る転出超過により、前年に比べて4,924人減少した(▲0.27%)。

(図1)人口及び人口増減率の推移(平成14年～平成23年)



(表1)人口及び人口増減率の推移(平成14年～平成23年)

年次	人口(人)	増減率(%)
H14	1,858,070	▲ 0.09
H15	1,854,792	▲ 0.18
H16	1,852,135	▲ 0.14
H17	1,842,233	▲ 0.53
H18	1,835,909	▲ 0.34
H19	1,828,288	▲ 0.42
H20	1,822,155	▲ 0.34
H21	1,815,985	▲ 0.34
H22	1,817,426	0.08
H23	1,812,502	▲ 0.27

※H17、22は、国勢調査の数値。
H14～16、H18～21、H23は、国勢調査をもとに推計。

2 人口動態 - 死亡者が2万人を超過

平成22年10月から平成23年9月までの自然動態は▲4,011人であった。内訳は、出生者16,166人、死亡者20,177人で、昭和41年以降で、県内の死亡者が、初めて2万人を超過した。

社会動態は、転入者65,154人、転出者66,067人と▲913人の転出超過で、15年連続の転出超過となっているが、転出超過が過去10年間で最も少なくなっている。

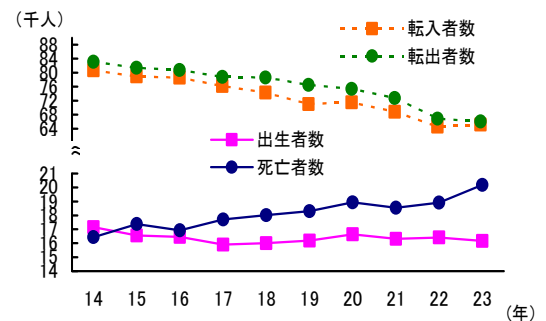
3 市町村別人口 - 熊本市及び近郊市町村で増加

最も多いのは熊本市の736,010人(県全体に占める割合40.6%)で、次いで八代市131,516人(同7.3%)、天草市87,629人(同4.8%)である。

人口増減数では、前年に比べ増加したのは熊本市(1,536人増)、合志市(785人増)、大津町(702人増)、菊陽町(702人増)など7市町村で、減少したのは天草市(1,436人減)、八代市(750人減)、上天草市(590人減)など38市町村である。

人口増減率では、前年比で増加率が高いのは大津町(2.25%)で、次いで菊陽町(1.86%)、合志市(1.43%)となっており、熊本市及び近郊市町村での増加が目立っている。一方、最も減少率が高いのは球磨村(▲2.12%)で、次いで山都町(▲2.04%)、上天草市(▲1.97%)となっている。

(図2)出生、死亡、転入、転出者数の推移(平成14年～23年)



(表2)人口、人口増減数及び増減率の上位5市町村(平成22年10月～平成23年9月)

順位	人口(人)	人口増減数(人)		人口増減率(%)	
		増加	減少	増加	減少
1	熊本市 736,010	熊本市 1,536	天草市 ▲ 1,436	大津町 2.25	球磨村 ▲ 2.12
2	八代市 131,516	合志市 785	八代市 ▲ 750	菊陽町 1.86	山都町 ▲ 2.04
3	天草市 87,629	大津町 702	上天草市 ▲ 590	合志市 1.43	上天草市 ▲ 1.97
4	玉名市 69,030	菊陽町 702	山鹿市 ▲ 584	嘉島町 0.71	苓北町 ▲ 1.92
5	宇城市 61,433	益城町 198	玉名市 ▲ 511	益城町 0.61	小国町 ▲ 1.89

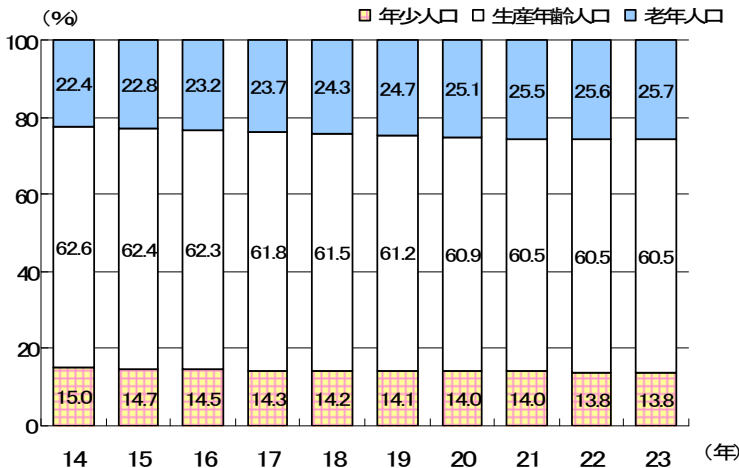
4 年齢別人口 — 県民の4人に1人以上が65歳以上

年少人口(0～14歳)	249,787人	(県の総人口に対する割合 13.8%)
生産年齢人口(15～64歳)	1,096,811人	(県の総人口に対する割合 60.5%)
老年人口(65歳以上)	465,904人	(県の総人口に対する割合 25.7%)

年少人口は、249,787人、生産年齢人口は、1,096,811人、老年人口は、465,904人で、県の総人口に対する割合は、前年に比べ、年少人口、生産年齢人口は変わらず、老年人口は、0.1ポイントの上昇となった。

老年人口の県の総人口に対する割合は、過去最高の25.7%となった。

(図3)年齢3区分別人口割合の推移(平成13年～平成22年)



(表3)年齢3区分別人口の推移(平成14年～平成23年)

年次	年齢3区分別人口(人)		
	年少人口(0～14歳)	生産年齢人口(15～64歳)	老年人口(65歳以上)
14	278,400	1,163,342	416,328
15	273,343	1,157,999	423,450
16	269,184	1,153,648	429,303
17	264,013	1,139,125	437,244
18	260,947	1,129,635	445,327
19	257,789	1,118,788	451,711
20	255,731	1,109,527	456,897
21	253,546	1,099,148	463,291
22	249,606	1,093,440	463,266
23	249,787	1,096,811	465,904

※H17、22(国勢調査)は年齢不詳人口を除く

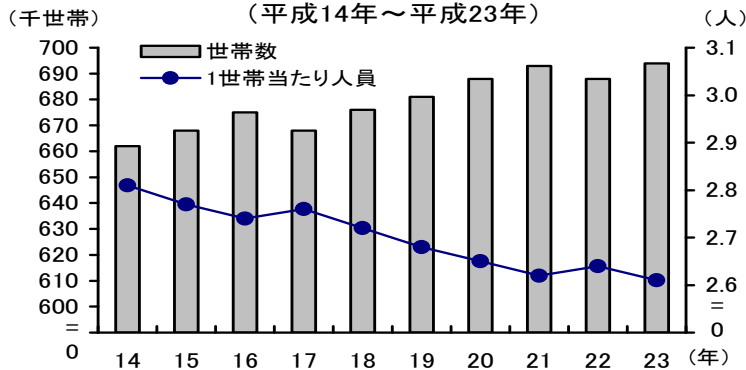
5 世帯 — 1世帯当たり人員は過去最少

平成23年10月1日現在の世帯数は、694,374世帯で、前年に比べて、6,140世帯増加した(0.09%)。

1世帯当たりの人員は2.61人で、前年に比べて、0.03人減少した。1世帯当たりの人員は、単身世帯の増加、核家族化等により過去最少となっている。

市町村別に1世帯当たりの人員をみると、最も多いのは相良村 3.16人で、最も少ないのは五木村 2.38人で、その差は0.78人である。

(図4)世帯数及び1世帯当たり人員の推移(平成14年～平成23年)



(表4)世帯数及び1世帯当たり人員の推移(平成14年～平成23年)

年次	世帯数	1世帯当たり人員(人)
H14	662,076	2.81
H15	668,485	2.77
H16	674,815	2.74
H17	667,533	2.76
H18	675,555	2.72
H19	681,377	2.68
H20	687,852	2.65
H21	693,039	2.62
H22	688,234	2.64
H23	694,374	2.61

※H17、22は、国勢調査の数値。H14～16、H18～21、H23は、国勢調査をもとに推計。

(表5)1世帯当たり人員の上位5市町村

順位	1世帯当たり人員(人)	
	多い	少ない
1	相良村 3.16	五木村 2.38
2	氷川町 3.15	熊本市 2.41
3	山江村 3.10	水俣市 2.48
4	和水町 3.08	南小国町 2.51
5	錦町 3.05	人吉市 2.53